



2021年8月16日

各位

会社名 株式会社ビューティ花壇
 代表者名 代表取締役社長 舛田 正一
 (コード: 3041 東証第二部)
 問合せ先 専務取締役経営管理本部長 三島 まりこ
 (TEL. 096-370-0004)

法人税等還付税額の計上及び業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年6月期(2020年7月1日～2021年6月30日)通期決算におきまして、法人税等還付税額を計上するとともに、2021年2月15日に公表した2021年6月期の業績予想と、本日公表の実績との差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 法人税等還付税額の内容及びその金額について

当社は、2020年6月期、及び2021年6月期において、法人税法上の欠損金額が生じたことから、欠損金の繰り戻しによる還付制度を適用し、マイナスの法人税、住民税及び事業税17,784千円を法人税等に計上いたします。

2. 通期連結業績予想数値と実績値との差異

①2021年6月期通期連結業績予想と実績の差異(2020年7月1日～2021年6月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,231	百万円 △120	百万円 △13	百万円 △31	円 銭 △7.77
実績値(B)	5,348	△27	100	81	20.20
増減額(B-A)	117	92	113	112	
増減率(%)	2.3	—	—	—	
(参考)前期連結実績 (2020年6月期)	5,344	△158	△149	△222	△55.05

②差異の理由

売上高につきましては、ブライダル装花事業において新型コロナウイルス感染拡大による結婚式の延期等の影響を受け予想を下回りましたが、その他の各事業につきましては同様にその影響はあったものの売上拡大施策が奏功しました。利益面につきましては、業務効率化施策の徹底および雇用調整助成金等の営業外収益の計上により当初計画を上回る結果となりました。2021年6月期の連結業績予想につきましては、新型

コロナウイルス感染拡大による当社業績への影響を合理的に見積もることが非常に困難であったことから、本日の開示となりました。

以 上